

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○ 理事の共有と実践 「その人らしさを大切に、心やすらぐ生活を」というグループホーム独自の理念があるが、地域密着型の視点が無い。	地域密着型の視点を取り入れた理念を作る。	職員全員で話し合い、理念を再検討し、実践に繋げる。	3ヶ月
2	8	○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 年間計画により内部研修を行っていたが、記録が不十分であった。	権利擁護や、成年後見制度について職員の理解を深め、家族への説明も行う。	法人全体の内部研修を行ってきたが、グループホーム独自の内部研修を行う。 可能性のある方には、折に触れて説明する。	6ヶ月
3	6	○ 身体を拘束しないケアの実践 玄関がオートロックになっている。	日常的にオートロックになっている事が当然の対応にならないよう、鍵をかけずに安全に過ごして頂く。	安全面を考えながら、時間帯など鍵をかけない工夫を話し合う。	6ヶ月